

学校教育目標	「ひびきあう心 輝く笑顔 ふれあいの丘 斎藤分」 ○一人ひとりが目的意識をもち、意欲的に学び個性を発揮するようにします(知) ○まちや学校で、自他のよさを生かして学び合い、豊かな人間関係を築くようにします(徳)(公) ○心や体を健やかに育み、生き生きと生活するようにします(体) ○コミュニケーションを通して考え合い、深め合えるようにします(開)					
	学校概要	創立 61 周年	学校長 近藤 伸	副校長 河田美恵子	2 学期制	一般学級: 7 個別支援学級: 2
児童生徒数: 208 人		主な関係校: 六角橋中学校 栗田谷中学校 松本中学校				

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	六角橋中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
《自分づくりに関する力》	六角橋中学校 神橋小学校 中丸小学校 神大寺小学校	夢や希望、目標をもてる子どもを育成する ・「自分づくり教育」を教科横断的に実施 ・合同授業研究会を年に2回開催 ・人権教育推進協議会などの合同の研修会を実施 ・学業地連などの児童生徒指導に関わる事業を実施 ・児童生徒交流会などの小中連携事業を実施

中期取組目標	○令和2年からの新学習指導要領完全実施を授業改善のよい契機ととらえ、主体的・対話的で深い学びができるような授業づくりを推進し、確かな学力を育てていきます。 ○心身ともに健康な子どもの育成、そして道徳の時間を中心にして、他を思いやる豊かな心の育成を図ります。 ○児童支援専任を核として、個に寄り添った児童支援を行い、いじめ0をめざした学校づくりを行います。 ○学校運営協議会を設置し、保護者・地域に開かれた学校運営を行います。また、子どもや保護者、地域の願い、教職員の思いを出し合いながら、学校教育目標の見直しを進めます。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
確かな学力 担当 学力向上推進	①これまで本校で大切にしてきた授業のユニバーサルデザインをもとにしながら、分かりやすく、楽しい授業を行い、基礎・基本をしっかり定着できるようにする。②新指導要領の趣旨をふまえ、子どもが主体的・対話的な深い学び、教科横断的な学びができるように、単元の工夫や授業改善に努める。
豊かな心 担当 人権・福祉教育、道徳教育推進	①学校や地域で、自ら進んで気持ちがいよいよ挨拶ができるようにしていく。また、SSTの視点を取り入れた指導を積み重ねることで、思いやりの心を育み、自他を大切にしていこうとする態度を育てる。②年間を通じた異学年交流を行い、ねらいを明確にした遠足や丘リンピックなど縦割りでの活動を行う。
健やかな体 担当 健康教育・体力向上推進	①年間を通して、体育朝会(ラジオ体操、ペース走など)や体育集会(長縄跳びなど)を実施する。②体育部や体育委員会から、外遊びに関する呼びかけを行うとともに、養護教諭による保健指導、衛生指導などを併せて行い、心身ともに健やかな児童の育成を図る。
特別支援教育 担当 特別支援教育	①一人ひとりの子どもの実態を把握し、少人数指導や特別支援教室なども効果的に取り入れ、個の特性に応じたきめ細やかな指導ができるようにする。②保護者の考えを聞きながら、学校カウンセラー、療育センター、関係機関などと連携をし、支援の在り方を絶えず改善するように努める。
児童指導 担当 児童指導	①職員会議や打ち合わせ、ケース会議などの場で子どもたちの状況を確認し、情報を共有をするとともに、指導の方向性や外部機関との連携について協議できるようにする。②斎藤分小学校スタンダードを基本に、どの教職員も同じスタンスで児童指導にあたるように共通理解をしていく。
信頼される学校づくり 担当 総務管理部	①環境整備に努め、児童はもちろん、来校する保護者、地域からも来校して気持ちのよい学校にしていく。また、教職員の気持ちのよい挨拶や対応が保護者・地域にできるように努める。②「さいとうぶんの日」の授業公開、H・Pの情報発信を行い、学校の状況を理解していただくような取組を推進する。
国際教育 担当 指導部	①国際教室では児童の実態を把握し、教科の補習や日本語指導を行っていく。②国際理解教室や一校一国運動では、インドネシアやエジプト・アラブ共和国についての理解を進めていく。特にエジプト・アラブ共和国との交流は2年目であるので、昨年度の取組をさらに発展させていくようにする。
地域連携学校運営協議会 担当 校長・副校長	①学校運営協議会を発足させ、地域と連携した学校運営を図る。②神奈川大学や地域ケアプラザなど地域の各機関と連携し、授業にも可能な範囲で参加していただく機会をもつようにする。また、地域の「人」とつながる単元づくりや学校環境整備も積極的にを行う。
いじめへの対応 担当 児童指導	①いじめは重大な人権侵害という認識を共有し、いじめの未然防止、早期発見、早期解決を行う。②いじめ防止委員会を毎月確実に開催するとともに、児童会の取組や子ども会議との関連を図った有機的な取組を行う。
人材育成・組織運営(働き方改革) 担当 校長・副校長	①初任者研修、メンター研修を定期的に行う。また、ブロック研での授業アドバイスや悩み相談を大切にす。その他校内研修ではプログラミング教育に関わる研修、不祥事防止研修、体罰防止研修、人権研修などを計画的に行う。②職員室業務アシスタントの配置もあり、教職員の業務の改善、そして行事・教育活動の精選、取組内容の見直しを行う。